

日本衛生学会の沿革 (1)

西川 溟 八

日本衛生学会ははじめ日本聯合医学会の分科会として出
発したということになっている。日本衛生学会雑誌によれ
ば、明治三十七年六月二十六日に、東京医科大学衛生学教
室において創立式を兼ねて発会式が挙行された。

創立式は午前九時半に開会し、開会の辞を發起人総代の
緒方正規がのべて、引続き座長の推薦が行なわれ、片山国
嘉が就き一言挨拶して座長席につき、議事が進められた。

議事は日本衛生学会創立沿革を今村保創立委員がのべ
た。ついで規則議事、役員選任、役員受任の辞があつて休
憩に入った。

午後一時より発会式があり、開会の辞を会頭がのべて、来賓に
賓祝詞、答詞(会頭)があり懇親会に移っている。来賓に
は菊池大学名誉教授、中央衛生会長、陸軍軍医総監石黒忠
恵、青山東京医科大学長らが祝詞をのべて、緒方会頭が答辞

をのべている。その後就任挨拶、祝電披露、学術演説があ
つた。演説はつぎのとおりである。

一種の発光菌について

今村 保

衣服材料のガス吸収について

横手千代之助

東京市改良水道の衛生学的観察

岡田 国太郎

日本の室内空気に就て

緒方正規

また標本及び器械展覽があつた。

以上が発会式であり、さらに会員名簿がついているがさ
すがに日本全国にわたっている。

(日本大学医学部公衆衛生学教室)